



▲成長力とタフさで勝利を掴み取ったディアドラ。

JAR

すべてを味方に新ヒロイン誕生

オークス馬のソウルスターリングこそ古馬中距離路線へと進んだが、春のクラシックで上位争いをした強豪たちがほとんど顔を揃えた秋華賞。桜花賞5着ののちNHKマイルカップを制したアエロリットが1番人気に推され、牝馬ながら皐月賞(7着)に挑んだファンディーナ、オークス4着でトライアルを勝ったディアドラ、さらにリスグラシュー、モズカッチャン、ラビットランなどが人気を集めだが、その結果には朝から降り続く雨で「重」となったタフな馬場状態も大きく影響した。



▲ロスなく内に入ったディアドラ(帽色・橙・左)
は虎視眈々、進出機会をつかかる。

ゲートが開くと大方の予想どおりにカワキタエンカが逃げ、ファンディーナとアエロリットが掛かり気味にそれを追走。モズカッチャン、桜花賞馬レーヌミノル、ラビットランらは好位に位置し、リスグラシューは中団、ディアドラは後方を進んだ。1000m通過タイムが59秒1と重馬場にしては速いペースのなか、ディアドラはクリストフ・ルメール騎手の好判断により内でロスなくポジションを押し上げて4コーナーを回った。直線へ向いてまず脚を伸ばしたモズカッチャンが、脚色が鈍ったカワキタエンカとアエロリットを交わして先頭に立つ。そこへリスグラシューとラビットランも襲い掛かるが、すぐ背後に迫っていたディアドラが外に持ち出されて猛スパート。リスグラシューとモズカッチャンの熾烈な2着争いをよそに豪快に突き抜け、1馬身 $\frac{1}{4}$ の差をつけて栄光のゴールへと飛び込んだ。

ディアドラは秋華賞までに13戦のキャリアを積んだ女丈夫。勝ち切れないものの、いつもしぶとく差を詰めて上位争いに食い込んでくる安定性が持ち味で、春には桜花賞で6着、オークスで4着と健闘していた。その後は8月の1000万下特別、トライアルの紫苑ステークスを連勝して、この大一番へ向かってきた。そして稍重や重でも崩れたことがない“道悪上手”という強みも最大限に生かして、ついに頂点へと上り詰めたのだった。

初騎乗となったルメール騎手は「ほかの馬は最後の50mで止まっただけれど、ディアドラは終いまで伸びてくれた。レース前から素晴らしいコンディションでした」と、新女王と厩舎スタッフに賛辞を贈った。

第22回秋華賞(GI)															
	10/15	京都競馬場	2000m(芝・右)	雨・重	18頭	着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム	着差	人気	通過順位
1	ディアドラ	牝3	55	C.ルメール	橋田満	2:00.2	③	14	15	13	9				
2	リスグラシュー	牝3	55	武豊	矢作芳人	1 1/4	④	12	11	9	6				
3	モズカッチャン	牝3	55	M.デムーロ	斎島一歩	ハナ	⑤	5	5	4	2				
4	ラビットラン	牝3	55	和田竜二	角居勝彦	3	⑥	7	8	6	6				
5	カワキタエンカ	牝3	55	北村友一	浜田多実雄	クビ	⑧	1	1	1	1				
6	ブラックオニキス	牝3	55	大野拓弥	加藤和宏	3	⑯	14	13	15	13				
7	アエロリット	牝3	55	横山典弘	菊沢隆徳	クビ	①	2	2	2	2				
8	ミリッサ	牝3	55	福永祐一	石坂正	1 1/4	⑦	10	10	11	11				
9	ポールヴァンドル	牝3	55	三浦皇成	上原博之	1 1/4	⑩	12	13	11	11				
10	リカビトス	牝3	55	浜中俊	奥村武	クビ	⑨	16	16	16	15				
11	ヴゼットジョリー	牝3	55	菱田裕二	中内田充正	1	⑯	16	17	18	15				
12	ブラックスピーチ	牝3	55	川田将雅	角居勝彦	1 3/4	⑭	4	4	4	5				
13	ファンディーナ	牝3	55	岩田康誠	高野友和	2	②	2	2	3	2				
14	レーヌミノル	牝3	55	池添謙一	本田優	1 3/4	⑩	5	5	6	6				
15	ハローユニコーン	牝3	55	田辺裕信	斎島一歩	クビ	⑯	18	18	16	15				
16	メイショウオワラ	牝3	55	松若風馬	岡田稻男	1/2	⑫	7	7	6	9				
17	タガノヴェローナ	牝3	55	幸英明	中村均	3 1/2	⑰	7	8	9	13				
18	カリビアンゴールド	牝3	55	田中勝春	小島太	クビ	⑯	11	11	13	15				

単勝⑬630円 複勝⑭220円 ⑦190円 ④270円 枠連(4-7)1,100円

馬連⑦-⑭1,510円 馬単⑭-⑦2,900円 ワイド⑦-⑭570円 ④-⑭790円 ④-⑦750円

3連複④-⑦-⑭3,180円 3連単⑭-⑦-⑭14,760円

ハロンタイム 12.2-11.0-12.4-11.9-11.6-12.0-12.1-12.5-12.1-12.4

通過タイム 600m:35.6-800m:47.5-1000m:59.1-1200m:1:11.1-1400m:1:23.2-

1600m:1:35.7-1800m:1:47.8

優勝馬 ディアドラ

2014.4.4生 父ハービンジャー 母ライツエント 母の父スペシャルウィーク
安平・ノーザンファーム生産 馬主:森田藤治氏